令 和 ４ 年 度

事 業 計 画

(2022 年 6 月 1 日～2023 年 5 月 31 日)

VISIT CHIYODA
千代田区観光協会

一般社団法人

千代田区観光協会

目　　次

１　地域との連携及び支援事業　…… 33
⑴ 地域関係団体イベントとの連携・支援
⑵ 区内大学等との連携
⑶ 舟運事業との連携
２　観光イベント事業　…… 35
⑴ さくらまつり
⑵ 納涼の夕べ
⑶ 東京大回廊写真コンテスト
３　観光情報発信事業　…… 38
⑴ ウェブサイト運営
⑵ 外国人向け情報発信
⑶ ガイドブック制作
⑷ 観光案内所の運営
⑸ 東京マラソンＥＸＰＯ出展
⑹ 皇居乾通り一般公開への協力
４　観光人材育成事業　…… 41
⑴ 観光ガイド団体等との連携
５　観光協会推進事業　…… 42
⑴ 会員交流会の実施等
⑵ 会員の事業ＰＲの支援
⑶ 地域ブランドの企画・販売
⑷ 観光拠点施設運営
⑸ 観光行事等に関する後援等
⑹ 社員総会・理事会の開催
６　管理運営　…… 46
⑴ 事務局人件費
⑵ 事務局の維持管理

１　地域との連携及び支援事業

(1) 地域関係団体イベントとの連携・支援(補助・継続)

□事業内容

千代田区内で行われる各種伝統行事や商店街イベント、音楽祭等を観光資源と捉え、ＪＲ東日本、東京メトロ、都営地下鉄と連携し、広く広域的にＰＲを行うとともに、ホームページやＳＮＳを活用し積極的な情報発信を実施していきます。また協会の主催イベントだけでなく、会員企業や団体などの取り組み、観光スポットに関するものをプレスリリースやニュースレターなどでマスメディアに発信していきます。

□実施予定時期：通年

□予定事業

(1) 季刊発行のガイドブック

春と秋に発行するガイドブックは、まち歩きに最適な季節でもあるので、桜や紅葉、話題のスポットやお土産、さんぽコースなど、区内を周遊してもらえるようなお出かけ情報を中心に掲載し、区内及び近隣区の観光案内所や会員ホテルのほか、ＪＲ東日本、東京メトロ、都営地下鉄の各駅で配布し、幅広く千代田区をＰＲします。

夏のガイドブックは区内の夏に行きたいスポットやグルメ情報を中心に、冬のガイドブックはイルミネーションと年末年始のお出かけ情報を中心に掲載し、観光案内所とホテル、イベント会場で配布します。

(2) 地域イベントのプレスリリース・ＰＲ

地域イベントや会員企業・団体の取り組み等のプレスリリース・ニュースレターの作成を行い、新聞、テレビ、雑誌、ウェブサイト等のマスメディアに発信します。

(3) ウェブサイト及びＳＮＳでの情報発信

地域で開催される季節のイベント（みたままつり、古本まつり、神田カレーグランプリ、イルミネーション等）や美術館・博物館の展示情報、日比谷公園等で開催される催しなどをウェブサイトやＳＮＳで発信します。

□予算額：20,887千円

［ポイント］
地域イベントのプレスリリース・ＰＲ
　令和２年度から、情報発信・ＰＲ等に関する専門家のアドバイスやノウハウを活用して、観光協会の情報発信のみならず、会員企業・団体の情報を新聞、テレビ、雑誌、ウェブなどのマスメディアに発信する支援を開始しました。今年度もさらにさまざまな切り口から、千代田区の魅力を発信していきます。

(2) 区内大学等との連携（自主・継続）

□事業内容
　区内大学における実習授業の一環として、学生による観光マップや観光ＰＲ動画の制作に協力し、研究成果を観光情報発信のツールとして活用し、相互の協力関係を推進していきます。そのほか、区内大学、専修学校の留学生と連携し、各種イベントの多言語対応や千代田区の魅力発信への多言語対応に協力を求めていきます。

□実施予定時期：通年、各種イベント

□予算額：100 千円

(3) 舟運事業との連携（自主・継続）

□事業内容
　千代田区の水辺を魅力ある都市空間に再生する条例に定める目的に寄与し、千代田区の水辺の資産である川を積極的に活用して千代田区の魅力をアピールするため、神田川・日本橋川活用事業への支援を行っていきます。

□実施時期
　通年

□予算額：200 千円

２　観光イベント事業

(1) さくらまつり(補助・継続)

□事業概要
　東京の桜の名所として国内外に著名な千鳥ヶ淵を中心に「千代田のさくらまつり」を地域の関係団体の協力・連携のもとに千代田区と開催しています。新型コロナウイルスの影響で、一昨年から３年続けて開催できませんでしたが、ようやく今年度は久しぶりに実施を予定しています。来場者の安全が確保される形態で、実施していきます。

□実施予定時期：令和５年３月下旬～４月上旬の10日間前後

□予算額：111,322千円

［ポイント］
　令和５年３月は、「さくらまつり」としては４年振りの開催となります。千鳥ヶ淵緑道を訪れる観光客に区内の他の地域へ回遊してもらえるような仕掛けを検討します。

(2) 納涼の夕べ(補助・拡充)

□事業概要

昭和33年第１回の開催以来、お濠を活用し千代田区の夏の風物詩となっている「納涼の夕べ」を、区営千鳥ヶ淵ボート場において開催します。この事業は、ボートに乗船して灯ろうを浮かべる催しで、お濠に揺らめく灯ろうにより、幻想的な真夏の一夜を楽しんでいただきます。この２年間は新型コロナウイルス感染症により中止しましたが、それ以前はインバウンドを中心に人気のイベントとなっていました。今年は２日間の開催を予定しています。

□実施予定日：令和４年７月29日・30日の２日間（順延なし）
80組・240名募集

□主な内容

(1) 灯ろう流し

事前の抽選で選ばれた80艇、240名（最大）のボート乗船者による灯ろう流しをお濠の水上で実施します。

(2) 灯ろうにメッセージを記入して流すサービスの実施

ここ数年見学者の方が増えたことから、夏の風物詩を見学者に体験いただけるよう、灯ろうにメッセージを記入して流すサービスを行います。また今年は当日だけでなく、ウェブサイトで事前の受付も行います。

□予算額：6,563 千円

［ポイント］

北の丸公園側の石垣に崩落の危険性があるとのことで、ボート場南側の区域が利用禁止となっています。利用区域が制限されたため、２日間の開催方法と合わせて、実施内容の再検討が必要となります。

(3) 東京大回廊写真コンテスト(補助・継続)

□事業概要
　千代田区の四季折々の風景や伝統行事、人の営みといった魅力を、様々な人々の視点から、写真を通して発掘してもらい、区の新たな魅力発見に繋げるため、第７回東京大回廊写真コンテストを実施します。
　写真コンテストは、グランプリ、準グランプリ、審査員特別賞、千代田区長賞、千代田区民賞、協賛各社賞等の賞を設け表彰をします。

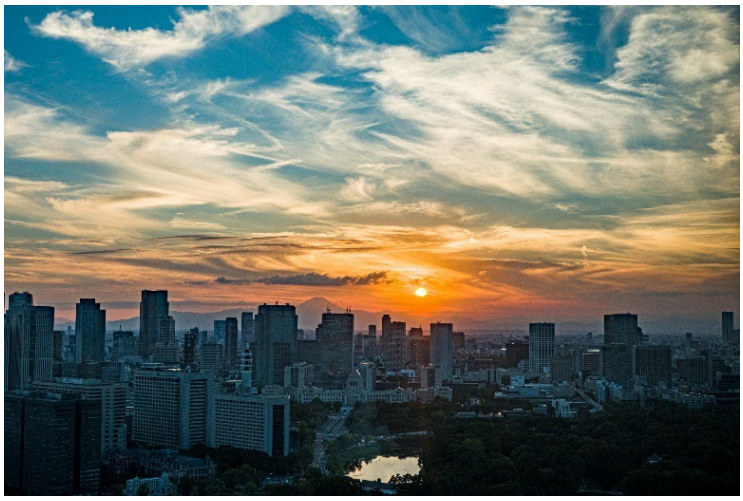
□募集期間
　令和４年２月１日～令和４年８月31日

□表彰式
　令和４年12月中旬（予定）

□応募状況(第６回実績)
　1,269点の応募、48点入選

□予算額：2,938 千円

［ポイント］
　今回の写真コンテストは、グランプリ、準グランプリ、千代田区長賞、千代田区民等の賞とともに、協賛企業のご協賛を募り（第６回実績41社・団体）冠賞を設けて表彰します。
　入選した作品は、協会が作成するマップやパンフレットで活用するとともに、メディアへの積極的な提供や情報発信ツールの題材として積極的に活用しています。



第６回グランプリ受賞作品「空のキャンバス」

３　観光情報発信事業

(1) ウェブサイト運営(補助・継続)

□事業内容

観光客等のニーズに即した情報提供を行うため、イベント・行事の観光情報や、歴史、文化、グルメ等観光資源などを検索できるデータベース機能を備えるとともに、ホームページのコンテンツの維持管理を行います。

□ウェブサイトの内容

飲食店・美術館などのスポット情報、歴史・史跡、イベント、観光コース、マップ・ガイドブックなど観光に必要な情報を掲載しています。また調べたいことが検索しやすいよう、トップページにメニューボタンを追加しました。

□予算額：11,879 千円

(2) 外国人向け情報発信 (補助・継続)

□事業内容

新型コロナウイルスの影響でインバウンドは一時的に減少しましたが、渡航が可能になった時、行きたい国として日本が上位に上げられることから、まず東京千代田区に行ってみたいと感じてもらえるよう、更なる千代田区の魅力発信を推進するため、観光協会ウェブサイトの姉妹版として、外国人向けのＳＮＳ・ブログの運営や、外国人による外国人向けの観光体験レポートの動画制作などを行っていきます。

□制作時期

年間を通じて情報発信・制作

□予算額：10,201 千円

(3) ガイドブック制作(補助・継続)

□事業内容

総合的な観光ガイドブック（日本語版、英語版、中国語版)、エリア別ガイドブック（神保町・お茶の水地域、神田地域、麹町地域、各英語版)、観光バリアフリーガイドブック（日本語版、英語版）などについて、案内所、会員ホテル等に配架します。今年は新規の作成はありません。

□予算額：620 千円

(4) 観光案内所の運営(補助・継続)

□事業内容

千代田区及び周辺地域の観光情報を発信するとともに、来街者の観光相談に対応する観光案内所を運営します。インバウンドの増加に備え、外国語対応できる人材の常駐化を実施しています。

昨年８月に千代田区観光協会観光大使に就任したリラックマのパネルやぬいぐるみも案内所入口に設置し、写真を撮影する人も増えています。

□営業日

通年　10時～18時

ただし、第４日曜日は休館日とします。

□事業規模

受付コーナー、情報閲覧コーナー、スマートフォン充電機の設置、荷物一時預かりサービス、デジタルサイネージの設置等

□予算額：15,620 千円

案内所入口の観光大使リラックマのパネル

(5) 東京マラソンＥＸＰＯ出展(補助・継続)

□事業内容
　令和５年３月に開催される東京マラソン走者事前登録地の東京ビッグサイトにおいて、千代田区ブースを出展し観光情報の発信等を行います。マラソンコースのゴール地点が東京駅丸の内側であることから、ゴールしたランナー及び応援に来た人に、区内を回遊してもらえるようマップやパンフレットを配布します。

□実施予定時期
　東京マラソン走者事前登録日の３日間

□予算額：1,000 千円

(6) 皇居乾通り一般公開への協力(補助・継続)

□事業内容
　宮内庁が主催する皇居乾通り一般公開に際して、来場者の利便性に資するとともに、来場者の区内への回遊に繋げるため、皇居乾門前に観光協会のテントを設置し、観光ガイド団体の協力を得て観光案内を実施します。

□実施予定時期
　12月、４月（予定）

□予算額：1,270 千円

[ポイント]
　新型コロナウイルスの影響により、一昨年、昨年の春季・秋季及び今年の春季は中止となっています。開催できれば３年振りとなります。

４　観光人材育成事業

(1) 観光ガイド団体等との連携(補助・拡充)

□事業内容

多くの観光スポットを擁する千代田区において、地域で活動している観光ガイド団体等が数多くある中、その連携をより深め、観光ガイドの人材育成の推進と情報発信のネットワーク化を図りました。また、新しく千代田区観光協会主催の観光ガイド育成講座を実施し、26名の講座修了生が誕生しました。今後、修了生には、中級講座や模擬ツアーなど、さらにガイドデビューに向けた講座・実地体験を受けていただきます。また、修了生の活躍する場となる、千代田区独自のツアーを創出していきます。

□実施予定時期

通年

□予算額：13,935 千円

［ポイント］

観光ガイド育成講座の修了生を育てていくとともに、新たなツアーの企画も行っていきます。また、既存ガイド団体とも引き続き連携していきます。

観光ガイド育成講座修了式

５　観光協会推進事業

(1) 会員交流会の実施等(自主・継続)

□事業内容
　会員と協会及び会員相互の更なる連携・交流を図ることを目的として、第４回会員交流会を開催します。
　会員相互の情報交換の場としてもご利用いただけるよう企画していきます。また、会員の増加にも努めていきます。

□実施予定時期
　年１回　令和５年２月頃開催予定

□予算額：1,500 千円

［ポイント］
これまでの著名人の講演と懇親会という２部構成から、第３回は１部の会員企業プレゼンテーションと２部の交流会という形式に変更して実施しました。１部の前に、会場のビル内に所在する会員団体の見学会も予定していましたが、コロナウイルス感染防止の観点から中止としました。今後も、会員同士の交流を図る場として、新たな実施方法を検討していきます。

(2) 会員の事業ＰＲの支援(自主・継続)

□事業内容
　東京商工会議所千代田支部のご協力を得て、同支部が主催する地域ビジネスフェアに観光協会ブースを確保して、そのブースを会員に提供し、事業ＰＲの支援を行います。

□実施予定時期
　令和４年11月

□予算額：100 千円

(3) 地域ブランドの企画・販売(自主・継続)

□事業内容

千代田区の地域ブランドとして定着させるとともに、観光協会の財源確保の一助とするため、オリジナルグッズの企画・販売等を行います。

会員企業で、神田に本社があるサンエックス株式会社の人気キャラクター「リラックマ」を昨年８月に観光大使として任命し、ウェブサイトやＳＮＳへの掲載、パネル設置、スタンプラリー、協会オリジナルグッズの制作などに活用していきます。

□実施予定時期

さくらまつり期間中及び通年

□オリジナルグッズ

SAKURA BATH、KUROMATSU BATH、桜ストラップ、マジック桜、桜べっこう飴、ポストカード、古地図タオル、リラックマコラボグッズ他

□予算額：4,000 千円

[ポイント]

女性やファミリー層に人気のあるキャラクター「リラックマ」を観光大使とすることで、これまで千代田区を訪れることが少なかった層が来訪するきっかけを作ります。

ちよだのさくら根付（左）とおでかけぬいぐるみキーホルダー（右）

(4) 観光拠点施設運営（自主・継続）

□事業内容
　万世橋出張所・区民館の５階を区から借り受け、そこに観光事業の拠点となる施設を新たに設けました。施設の運営者は、一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（ＪＳＴＡ）で、今後、観光協会だけでなく、地域団体、民間企業等と連携し、スポーツ・文化・ツーリズムの視点から、新たな千代田区の観光事業を創設していきます。

□実施予定時期
　通年

□予算：6,000 千円

［ポイント］
令和２年11月から公募し令和３年１月に決定したプロポーザル方式による事業者選定において、施設の運営者として一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構が決定しました。施設名称は千代田ツーリズムイノベーションベース（ＣＴＩＢ）で、今後、観光に関するさまざまな取り組みを実施し、地域の観光振興を推進していきます。

(5) 観光行事等に関する後援等（自主・継続）

□事業内容
　地域団体、民間団体、民間企業等が主催するイベント、講演会、記念式典等の行事に対し、千代田区観光協会の後援名義・協力名義を付して協力していきます。

□実施予定時期
　通年

□予算：0 円

(6) 社員総会・理事会の開催(自主・継続)

□事業内容

役員の選任、事業計画、事業報告等、観光協会の重要議案の審議等を行うため、総会及び理事会を開催します。

◎定時社員総会：議案審議（役員の選任、令和３年度事業報告・令和３年度収支決算報告）
報告事項（令和４年度事業計画・令和４年度収支予算）

◎理事会：議案等の審査
令和４年度事業計画及び令和４年度収支予算
平成３年度事業報告・令和３年度収支決算報告の審査
令和４年度事業実施報告(中間報告)等

□開催予定時期

◎定時社員総会：令和４年８月25日（予定）
（臨時社員総会は必要に応じて随時開催）

◎定時理事会：年度３回開催予定(７月、12月、４月)
（臨時理事会は必要に応じて随時開催）

□予算額：3,600 千円

総会の様子（会場：帝国ホテル）

６　管理運営

(1) 事務局人件費(補助・継続)

□事業内容
　　会長の報酬及び専務理事、協会職員７名の給与並びに区派遣職員１名の社会保険料事業主負担分

□予算額：62,762 千円

(2) 事務局の維持管理(補助・継続)

□事業内容
　　事務局の維持管理に要する経費
　　〇旅費、通信費、印刷製本費、消耗品費、光熱水費、賃借料
　　〇警備、清掃、消防点検等各種委託経費
　　〇事務機器類リース料

□予算額：23,685 千円

[ポイント]
　区商工観光課が「千代田区商工振興基本計画」及び「千代田区観光ビジョン」を改訂することに伴い、観光協会も長期的な計画を作成します。